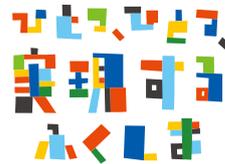


2026 年度  
福島県公立学校教員採用案内



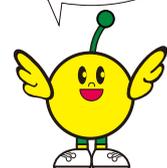
# Together

共に、新たな未来を。



次代のふくしまを  
育むのはあなた。

新任教員から  
Message  
MOVIE 公開中



福島県教育委員会

## 小学校教諭 Elementary school

生まれ育った福島で  
子どもたちに  
寄り添っていききたい。



郡山市立芳山小学校  
教諭 阿部 真弥



### My step!

#### ■ 福島県の教員になろうと思った理由は？

小学生の頃、私に寄り添い成長を支えてくれた先生に憧れました。最初は民間企業に就職しましたが、生まれ育った福島で、子どもたちに寄り添っていききたいと思ったからです。

#### ■ 教員になる前となった後で “教員の仕事”のイメージはどう変わりましたか？

授業が中心のイメージでしたが、実際は事務作業や行事の準備など幅広い業務にあたっています。大変なこともありますが、子どもたちの成長がやりがいになっています。

#### ■ 教員になって大変だったことは？ その時どのように乗り越えましたか？

授業や子ども同士のトラブルで悩んだことがあります。その時、先輩の先生方が親身になって実践的なアドバイスをくださいました。相談しやすい環境に支えられました。

#### ■ 日頃の業務で力を入れて行っていることは？

子どもたちが自分の考えをしっかりとち、友達と交流しながら学べる授業づくりに力を入れています。そのために、安心して学べる環境づくりを大切にしています。

#### ■ ワーク・ライフ・バランスのために 取り組んでいることは？

先輩の先生方に確認しながら、業務の優先順位を意識して、効率的に仕事を進めています。オンとオフを切り替えられるよう、リフレッシュの時間を大切にしています。

#### ■ 教員としてのやりがいや目標を一言で！ 子どもたちと共に自分も成長できる 素敵な職業です。

#### 休日の 過ごし方

友達と  
食事したり、  
サッカー観戦  
したりして  
います。



Message

中学校教諭 Junior high school

音楽を通じて  
生徒の可能性を  
引き出したい。



福島市立北信中学校  
教諭(音楽) 馬場 翔夏



My step!

■ 福島県の教員になろうと思った理由は？

生まれ育った福島県で、自分の得意なことを生かせる仕事に就きたかったからです。音楽を通じて、生徒のやる気や可能性を引き出すサポートがしたいと思いました。

■ 教員になる前となった後で  
“教員の仕事”のイメージはどう変わりましたか？

教員になる前は、授業や部活動の指導が仕事だと考えていました。働いてみると、子どもたちの成長を見守ることで、教員も学び成長できる仕事だと気付きました。

■ 教員になって大変だったことは？  
その時どのように乗り越えましたか？

授業の進め方や学級経営で難しさを感じることがあります。その時は、同僚の先生方に相談したり、他校の先生の授業を参考にしたりしながら乗り越えています。

■ 日頃の業務で力を入れて行っていることは？

積極的に生徒と関わり、信頼関係を築けるようにしています。また、魅力ある音楽の授業を目指して、実際の演奏を取り入れるなど、教材研究に日々取り組んでいます。

■ ワーク・ライフ・バランスのために  
取り組んでいることは？

優先順位を意識しています。同僚の先生方のサポートを受けながら、精一杯業務に励んでいます。退勤後は、家族と食事に行くなど、自分の時間を大切にしています。

■ 教員としてのやりがいや目標を一言で！  
生徒と共に成長できる仕事です。  
福島県のために一緒に頑張りましょう！

休日の  
過ごし方

声乐  
コンクールに  
挑戦して  
います！



## 高等学校教諭 Senior high school

教員の仕事は  
”教える”よりも”伴走する”  
のがふさわしい。



福島県立原町高等学校  
教諭(英語) 鈴木 智紀



### My step!

#### ■ 福島の教員になろうと思った理由は？

民間企業で営業職を経験しました。企業で働くよりも、ふくしま復興の中心となる子どもたちの成長を手助けして、これからの日本を支える一助になりたいと考えたからです。

#### ■ 教員になる前となった後で “教員の仕事”のイメージはどう変わりましたか？

教師の仕事をしてみて“教える”よりも“伴走する”のがふさわしいと考えるようになりました。教師自身が学び、成長しようとする姿を見せることが大切だと思います。

#### ■ 教員になって大変だったことは？ その時どのように乗り越えましたか？

成績処理や時間割作成などの事務作業に時々難しさを感じますが、わからない時、気軽に相談できる先輩や同期の先生方がいます。丁寧に教えてもらえるとても心強い味方です。

#### ■ 日頃の業務で力を入れて行っていることは？

生徒と関わる時間を大切にしています。事務作業に追われていても、直接生徒と関わる授業や面談、部活動の時間を確保して、ちょっとした変化にも気付けるよう心を配っています。

#### ■ ワーク・ライフ・バランスのために 取り組んでいることは？

タスクプライオリティマネジメントです。業務を完了するまでにかかる時間を考慮して優先順位をつけ、なるべく業務時間内に終わらせるように心がけています。

#### ■ 教員としてのやりがいや目標を一言で！

志を高くもち学び続け、  
生徒の目標であり続ける教師を  
一緒に目指しましょう。

#### 休日の 過ごし方

フランス語の  
勉強や海釣り、  
また、家族と  
過ごすことが  
多いです。



Message

特別支援学校教諭 Special-needs education school

心強い先輩や同僚が  
身近にいるから  
頑張れる。



福島県立平支援学校  
教諭 源田 彩心



My step!

■ 福島県の教員になろうと思った理由は？

障がいのある弟が通っていた特別支援学校を見学したのがきっかけです。先生方が児童の個性を引き出す姿に感銘して、私も福島の子どもたちの成長を手助けしたいと思いました。

■ 教員になる前となった後で  
“教員の仕事”のイメージはどう変わりましたか？

「いろいろな業務で忙しい」イメージでした。実際、忙しい時もありますが、授業内容や子どものことを考える余裕はあります。子どもの笑顔を見ると、頑張る意欲が湧いてきます。

■ 教員になって大変だったことは？  
その時どのように乗り越えましたか？

子どもたちとの関わりに悩むことがありました。その時、周りの先生方からいろいろなアドバイスをいただきました。心強い先輩や同僚のおかげで乗り越えることができました。

■ 日頃の業務で力を入れて行っていることは？

子どもたちにとって分かりやすい教材作りに力を入れています。考えていると、いつの間にか時間が過ぎてしまうので、やるべきことをリストアップして取り組んでいます。

■ ワーク・ライフ・バランスのために  
取り組んでいることは？

オンとオフで気持ちの切り替えを大事にしています。家に帰ってひと息いたら、好きなJ-POPの音楽を聞いたり、動画やドラマを見たりして、気分転換しています。

■ 教員としてのやりがいや目標を一言で！  
福島の子どもたちの成長と笑顔のために  
一緒に頑張りましょう！

休日の  
過ごし方

カフェ巡りを  
してリフレッシュ  
しています。



## 養護教諭 Nursing teacher

関わりたい。

子どもたちの健康づくりに

福島の将来を担う



柳津町立柳津小学校  
養護教諭 横田 美織



### My step!

#### ■ 福島の教員になろうと思った理由は？

私は以前、助産師として働いていました。その経験から、健康の大切さや命の尊さを実感し、将来を担う子どもたちの健康づくりに関わりたいと思ったからです。

#### ■ 教員になる前となった後で “教員の仕事”のイメージはどう変わりましたか？

子どもたちの成長を近くで見られる、素敵な仕事だと感じます。子どもたちから日々新しい発見があり、「自分自身もっと成長しなくては」と思いを新たにしています。

#### ■ 教員になって大変だったことは？ その時どのように乗り越えましたか？

初めはわからないことばかりなので、同僚の先生方や同じ地区の養護教諭に相談しています。一人での仕事が基本ですが、周りに相談できるのでとてもありがたいです。

#### ■ 日頃の業務で力を入れて行っていることは？

保健室に来る児童へ適切な対応ができるよう心がけています。日頃から積極的に子どもたちとコミュニケーションを取り、担任の先生方と情報共有しています。

#### ■ ワーク・ライフ・バランスのために 取り組んでいることは？

心も体も健康な状態で働くことを心がけています。おいしいご飯を食べ、しっかり眠ること。悩むことがあったら、抱え込まず周りの人に相談するようにしています。

#### ■ 教員としてのやりがいや目標を一言で！

子どもたちの  
未来につながる仕事です！

#### 休日の 過ごし方

友人や家族と  
ライブに出かけて  
います！



Message

## 合理的配慮の申請による合格者

ICTも取り入れながら  
生徒が安心して学べる  
環境を整えていきたい。



福島県立視覚支援学校  
教諭(高等部・専攻科理療科)  
渡邊 雅史



### My step!

#### ■ 福島県の教員になろうと思った理由は？

宮城県の特別支援学校で9年間働きました。将来のことも考えられるようになり、生まれ育った福島に戻って、地元の子どもの力になりたいと思ったからです。

#### ■ 教員になる前となった後で “教員の仕事”のイメージはどう変わりましたか？

教えることが中心の仕事と思っていました。実際に働いてみると、生徒一人一人の成長を支えるさまざまな業務があり、やりがいと責任を実感しています。

#### ■ 教員になって大変だったことは？ その時どのように乗り越えましたか？

年上の生徒やコミュニケーションに困難を抱えている生徒への指導で悩んでいたことがあります。その時、先輩や同僚からの確かな助言を受け、解決策を見出すことができました。

#### ■ 日頃の業務で力を入れて行っていることは？

私には、視覚障がいがあり、当事者だから気付けることがたくさんあります。ICTも取り入れながら、生徒が安心して学べる環境づくりを心がけています。

#### ■ ワーク・ライフ・バランスのために 取り組んでいることは？

仕事とプライベートのメリハリを大切にしています。家族と過ごす時間を優先するようにしていて、子どもと過ごす時間が良いリフレッシュになっています。

#### ■ 教員としてのやりがいや目標を一言で！

生徒と共に学び続ける姿勢を大切にしていきたいです。

#### 休日の 過ごし方

旅行に出かけて  
非日常を楽しんでいます。





## 子どもたちの未来は、ふくしまの未来。

福島県では、急激な社会の変化の中で、「自分の人生を切り拓くたくましさを持ち、多様な個性をいかし、対話と協働を通して、社会や地域を創造することができる生徒」を育成するために、学びの変革※1を実現できる次のような教員を求めています。

- 1 「福島らしさ」※2をいかした多様性を力に変える教育と、福島で学び福島に誇りを持つことができる「福島を生きる」教育を実践する教員
- 2 高い倫理観と教育に対する情熱・使命感を持ち、児童生徒に伴走しながら学び続ける教員
- 3 心身共に健康で、自らの強みや指導力をいかし、チームとして多様化・複雑化する教育ニーズに対応する教員

※1 学びの変革とは  
全ての子どもに必要な力を育成するため、一方通行の画一的な授業から、個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びへと変革すること

※2 「福島らしさ」とは  
○「はま・なか・あいづ」に代表される広い県土だからこその多様性、それぞれの地域の文化と歴史、豊かな自然環境といった独自性  
○人と人との触れ合いや支え合いの精神など、人々の温かさや絆が息づいている県民性  
○東日本大震災及び原子力災害によって他の地域よりも複雑で多くの課題を抱える中で、地域等の人々が手を取り合って果敢に挑戦を続けていること

### 志願者・受験者・合格者・倍率 (令和7年度実施)

	志願者数	受験者数	合格者数	倍率 (受験者数/合格者数)
小学校	335	324	290	1.1
中学校	512	485	245	2.0
高等学校	351	328	69	4.8
特別支援学校	124	123	49	2.5
養護教諭	192	187	20	9.4
合計	1,514	1,447	673	2.2

### 勤務条件等

#### ●勤務時間・休暇

##### 【勤務時間】

○週38時間45分(1日あたり7時間45分)

##### 【週休日・休日】

○土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始(12/29～1/3)

##### 【休暇等】

○年次有給休暇：年に20日間(繰り越しにより最大40日間)

※1日単位、半日単位、1時間単位で取得ができます。

○その他の休暇：夏季休暇、病気休暇、結婚休暇の他、出産、子育て・家族看護、介護、ボランティアなどを事由とする休暇等

○その他：育児休業、大学院修学休業等

#### ●給与等

【初任給の金額】(令和8年1月1日現在)

	初任給の基準(月収)	
	小・中学校 教諭	県立学校 教諭
大学院 (博士課程)	約33.7万円	約33.7万円
修了 (修士課程)	約30.3万円	約30.2万円
大学(四年制)卒	約28.5万円	約28.5万円
短期大学 卒	約26.7万円	約26.2万円

※上記の金額は、給料月額と教職調整額、義務教育等教員特別手当の合計です。

※採用前に職歴を有する場合には、一定の基準により額が加算されます。

##### 【各種手当】

○扶養手当、住居手当、通勤手当等の諸手当

※それぞれの条件に応じて支給されます。

##### 【期末・勤勉手当(ボーナス)】

○夏(6月)と冬(12月)に期末・勤勉手当(ボーナス)を支給

【令和7年度実績：合計4.65ヶ月分】

※勤勉手当には、人事評価制度による勤務成績が反映されます。

#### ●福利厚生

##### 【共済・共助制度】

○病気やけが、出産時の助成等

○結婚・子どもの入学時の祝い金などの給付等

○住宅資金、教育資金等、目的に応じた貸付等

##### 【健康管理】

○定期健康診断や人間ドック、各器官別検診の実施

○メンタルヘルスを含む各種健康相談の実施

##### 【宿泊・保養施設】

○県内外にある指定宿泊施設の利用助成

### 出願から採用までのスケジュール (予定)



### 研修等

#### ●初任者研修(1年目)

目的 新任教員に対して、教育公務員特例法第23条の規定により、現職研修の一環として1年間の研修を実施します。実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見の習得を図ります。

##### ○校内における研修

・小・中学校教諭 100時間以上  
・県立学校教諭 150時間以上

##### ○校外における研修

・小・中学校教諭 22日  
・県立学校教諭 22日

#### ●新規採用養護教諭研修(1年目)

目的 新規採用の養護教諭に対して、専門知識・実践的指導力及び使命感を養うとともに、職責の円滑な遂行に資する研修を実施します。

##### ○校内における研修 15日

##### ○校外における研修 14日

#### ●2年次教員フォローアップ研修(2年目)

目的 初任者研修を修了した教諭に対して、福島県公立学校教職員現職教育計画に基づき、その後1年間の研修を実施します。初年度に培った基礎的な力を、日々の教育実践に生きる確かな資質や能力の向上を図ります。

##### ○校内における研修

・小・中学校教諭 30時間以上  
・県立学校教諭 30時間以上

##### ○校外における研修

・小・中学校教諭 3日  
・県立学校教諭 3日

問合せ先

福島県教育庁

〒960-8688 福島市杉妻町2-16

義務教育課 教員採用担当

TEL024-521-7761

高校教育課 教員採用担当

TEL024-521-7770

特別支援教育課 教員採用担当

TEL024-521-7765

福島県教員採用

検索

X(旧Twitter)でも教員採用の情報を発信しています。義務教育課HPにリンクを掲載しています。